

2015年

5

月号

# 組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町 2-222-7

TEL 048 (666) 2184

FAX 048 (652) 7631

〈発行人・理事長〉

小林 満

〈編集人・総務委員長〉

井上 宣雄

## —今月号の主な内容—

平成27年埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会 ……2	埼玉鍍金新春賀詞交歓会 ……10
平成27年全鍍連賀詞交歓会 ……4	第3回鍍金業界「未来を担う若手の集い」 ……11
第57回埼玉県めっき技術競技会 ……5	埼玉鍍金 会員募集 ……12
彩の国ビジネスアリーナ2015 ……8	



152号



## 平成27年 埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会開催



埼玉県鍍金工業組合は、平成27年1月21日午後6時30分よりパレスホテル大宮(さいたま市)にて、平成27年賀詞交歓会を開催しました。来賓をはじめ組合委員・賛助会員多数出席のなか、井上直雄総務委員長司会のもと黒沢久副理事長より開会の辞で始まり、次に主催者を代表して小林満理事が挨拶されました。

「皆様、あけましておめでとうございます。平成27年埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会を開催するに当たりお呼びたてをいたしましたところ、大変多くの皆様にご参集いただきまして心より御礼申し上げます。また、ご多用な埼玉県知事の代理で、産業労働副部長の加藤様をはじめ、埼玉県の幹部の方、それから国会議員西田実仁先生をはじめとして皆様にお越しを頂いております。冒頭、副理事長の黒沢が今年の景気の話が出てまいりましたが、本当によくなればなと願うばかりでございます。

去年10月、某自動車企業の方から3年ぶりにコストダウン要請がありました。

こんなに為替で儲かっている、そこで更にコストダウン要請かと

思っておりましたところ、約一週間後、コストダウンの撤回がされました。実は、これには裏話がありました。実は、某自動車企業さんがございまして、某自動車企業さんがコストダウンを発表した3日後に、中小企業団体中央会の全国大会が日比谷で開催されました。その折に、さる方が宮沢経産大臣にお話されたそうです。すると、すぐに某自動車企業さんが撤回をされたそうです。

それから、昨日の新聞に載っていた記事で、某自動車企業さんが為替の差益でかなり儲かっているということ、3年間で部品調達費用を7%程度コストダウン要請していたものを1~2%圧縮すると、それをもって利益還元という言葉を使っておりました。ありがたい話では御座いますが、果たし

てこれが利益還元なのだろうか。と。

某自動車企業さんの広報の方がおっしゃられたのか、新聞の記者の方がそう書いたのか定かではございませんが、本来、利益還元とはちよつと違うと感じました。

この頃、色々な方とお話する機会がございまして、日本の富の配分の仕方がおかしくなってきたいて、強者が独占している感があり、本来、経済運営というのは、富の再配分と再投資、これがないとうまく回らないと考えております。その辺のところをシステムとしてきつちりと確認をしていただき、正常に作動するようにスイッチを切り替えていただけないかというお話をさせて頂きました。聞き届けて頂けたかは定かではない



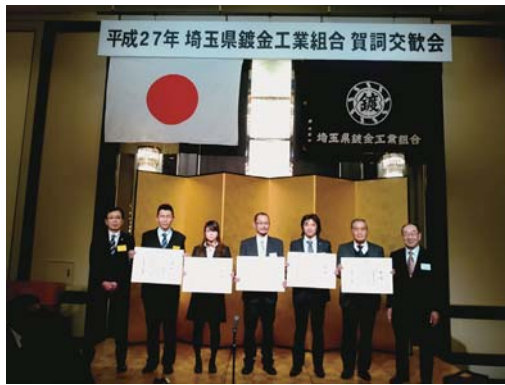
平成27年5月25日

衆議院議員 牧原秀樹氏よりご挨拶を頂き東京都鍍金工業組合 副理事長 永田一雄氏の乾杯のご発声により歓談がスタートしました。

本年は、同日に行われました埼玉県めつき技術競技会並びに排水管理優良事業所表彰式で埼玉県知事賞及び埼玉県鍍金工業組合理事長表彰を受賞された企業様のご紹介がされました。

終始和やかな雰囲気の中、歓談が行われるなか衆議院委員 民主党幹事長 枝野幸男氏よりご挨拶を頂いた後、中締めには埼玉鍍金会会長 甲斐野嘉彦氏より3本で締めた後、閉会の辞を吉田幸司副理事長が、「外は、寒いのですが、なぜか私は、汗ばんでいます。これは、ひとえに皆様のご支援の暖かさとお組合の熱気、特に青年部の勢いと思えます。今年も、羊年です。羊と言えはのんびりしていると思う

でしようが、今年もいい事があるよう、のんびりせずに頑張ってくださいと思います。本日はまことにありがとうございます。本日はまことにありがとうございます。と言いう言葉で締めて平成27年埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会は閉会しました。



## 全鍍連 賀詞交歓会を開催



してきたが、皆明るくなってきた印象を受けた。そして、円安によって国内に戻ってきている企業が多々出てきている。また、「蔭極まれれば陽生ずる。今まで苦労した分今年が良いことが多くあると思っている。力強くこの一年を頑張っていこう。」との元気になるご挨拶をいただきました。

平成27年度 全国鍍金工業組合連合会 賀詞交歓会が、平成27年1月23日に機械振興会館地下2階ホールにて盛大に開催されました。島田総務副委員長の司会進行にて開催され、「本年度は安定した政権の元、景気回復の実感を味わうことを願う。」との八幡副会長の開会の辞で開かれました。そして全国鍍金組合連合会の栗原会長より「各地の新年会に参加

次に役員候補者選考委員会の鈴木委員長から、次期役員改選について報告があり、次期会長に現全鍍連会長の栗原敏郎理事長を全鍍連会長候補として留任し、推薦する事を決定したと報告されました。続いて来賓の挨拶として、経済産業省製造産業局非鉄金属課の井上課長様より、「重点施策の中で、省エネ補助金を拡充させたので、補助金や助成金を活用して景気回



復を実感して欲しい。」とのご挨拶をいただき、続いて全国中小企業団体中央会の加藤理事様、日刊工業新聞社井水代表取締役社長様、そして日本表面処理機材工業会の奥野会長様より日本のものづくりについて「最近アメリカのタクシーで日本車が多くなった。これは安いだけでなく、故障しないなどの日本のものづくりの良さが認められたからだと思う。三菱重工のMRJはまだ飛んでいないのもかわらず485件の受注を獲得

得したのも、日本製は壊れないし省エネであるとして高い信頼性があるとのことである。今年は忙しくなるのではないかと予想され、我々表面処理業界が力を発揮する時ではないか。」と新年の始まりにふさわしい明るい励ましのご挨拶をいただきました。

来賓のごあいさつが終わり、祝電紹介の後、島村名誉顧問の乾杯の発声で祝宴が開始され、久しぶりに会う他県の会員同士和やかに歓談・情報交換等が行われました。

当組合からも6名出席させて頂き、美味しい料理とお酒をいただきながら楽しい時間を過ごす事が出来ました。

そして島村名誉顧問の中締めの後、長坂副会長の閉会の辞により全鍍連の平成27年賀詞交歓会は閉幕となりました。

忙しい中、参加いただいた役員の方々、大変お疲れ様でした。

## 平成26年度(第57回) 埼玉県めつき技術競技会 並びに排水管理優良事業所表彰式



平成27年1月21日(木)  
「パレスホテル大宮 4階 ラック」

埼玉県では他県に例のない独自の観点で、めつき技術競技会は57回を重ね長い歴史と、排水管理においても数々の公害問題をクリア

してきた歴史は、我々の先人が苦勞をして積み上げてきためつき業界の歴史そのものと感じています。この歴史ある表彰式を通じて我々めつき業の活動をより多くの方々に知っていただき、「埼玉県のめつき」というジャンルがより強いものとなることを期待しています。

しかしながら時代の流れもあり事業所の減少や多様化するめつき技術などの影響を受けて参加企業数が増加しないことが現在の悩みとなっていることもあり、今期からは埼玉県鍍金工業組合の賀詞交歓会と同日・同会場開催として多くの事業所の皆さんに改めてこの競技会と排水管理の重要性をご理解いただけるようにと考えての開



催といたしました。企画をご理解  
いただいたのか沢山のご参加者・  
ご来賓にもお越しいただき賑やか  
に開催することができました。

まずは、今年度の技術競技会に  
入賞されました事業所様と排水管  
理優良事業所として表彰されまし  
た事業所様にはお祝いを申し上げ  
ると共に、開催するにあたり多大  
なるご協力をいただきました埼玉  
県の各部と関係の方々、ご参加下  
さった全ての事業所様へ御礼を申

し上げます。

表彰式

始めに小林理事長からの挨拶が  
あり、この度の賀詞交歓会との同  
日開催の趣旨を述べられ、今後も  
未来永劫めつきの技術と業界発展  
がなされることを願いつつ、今回  
の表彰に現れる「技術と環境」は  
めつき業界において中核であるた  
め大切に守り、高めていく必要が  
あると業界を盛り上げる挨拶をさ  
れました。

埼玉県めつき技術競技会 表彰

昨年試験的に開催された「無電  
解ニッケルめつき部門」が正式部  
門に昇格となり今期より5部門に  
なりました。厳正な各審査を経た  
受賞者が「埼玉県知事賞」から順次  
発表・表彰されました。

なお、各賞の受賞者は別表をご  
覧ください。

埼玉県めつき技術競技会 講評

審査員を代表して特級めつき技  
能士である山崎健次先生より、各  
部門に対しての詳細な講評をいた  
だきました。中でも特筆すべきは  
今後チャレンジする方々にとって

も参考になるかと思われ、競技要  
項をきちんと理解・解釈をしてい  
ないためか、大幅に膜厚などが基  
準値をかけ離れている試料があつ  
たことを指摘されたことは皆さ  
んにご記憶いただきたい点です。  
もちろんこれは通常の仕事にも関  
わる重要な点できちんとお客様の  
ご要望を理解しなければ、せつか  
くの満点の技術も意味が無いもの  
になってしまいます。この競技会  
を通じて改めて社内の品質向上に  
繋がるきっかけとなっていただけ  
れば幸いです。今回の山崎先生の  
ご意見・ご指摘は的確な講評と受  
け止めさせていただきました。

排水管理優良事業所 表彰

平成26年度に排水優良事業所と  
された事業所にプレートが授与さ  
れました。

水質汚濁防止法が改正されたこ  
とで、環境面に対する強化を痛烈  
に感じており、業界としても懸案  
事項となっております。排水の管  
理はもちろんのこと通常の営業を  
行ううえでの液管理の徹底を点検  
チェックシートの作成により「無  
事故・無違反の埼玉」として認識さ  
れますようご努力・ご協力のほど  
お願い申し上げます。なお、各賞  
の受賞者は別表をご覧ください。

埼玉県鍍金工業組合 賀詞交歓  
会において

同日・同会場ということで、賀詞  
交歓会にお集まりいただいた皆さ  
んに、栄えある県知事賞を受賞さ  
れた5部門5社の受賞者をご紹介  
し、壇上にて記念撮影をさせてい

## 平成26年度(第57回)埼玉県めっき技術競技会審査結果

表彰区分	部門	装飾用クロムめっきの部	亜鉛めっきの部	工業用クロムめっきの部	バレル亜鉛めっきの部
埼玉県知事賞		(株)甲斐野テックス 久津間 勝明	仁科工業(株) 鈴木 真実	吉野電化工業(株)	(株)大倉 A
埼玉県産業労働部長賞		(有)小林鍍金工業	吉野電化工業(株)	新硬クローム工業(株)	(株)大宮鍍金工業 飯島 尚
埼玉県産業技術総合センター長賞		(株)真工社 B	(株)トーター創研 大森 留次	(株)精硬クローム工業 小川 健二	押尾化学工業(有)
埼玉県中小企業団体中央会長賞		小松原鍍金工場 小松原 秀元	(有)阪本鍍金	川口ハードクロム工業(有)	新田興業(株) 井上 和浩
埼玉県鍍金工業組合理事長賞		(有)渡辺鍍金工業所 渡邊 順一	(有)池澤鍍金工業所 池田 秀和	(株)オーク埼玉工場 A 杉 祐太	カツデン(株)
フジサンケイ ビジネスアイ賞		(有)今井メッキ工業所	押尾化学工業(有)	(株)ミドリ技研 山崎 宏昭	(株)小林鍍金工業
産業通信社賞		(有)坂寄鍍研精工 鈴木 望	(株)大倉		(有)小築鍍金工業所 森 正伸

## 平成26年度(第57回)埼玉県めっき技術競技会審査結果【新部門】無電解ニッケルめっき

表彰区分	受賞企業
埼玉県知事賞	高松電鍍工業(株) 狭山市柏原 231
埼玉県産業労働部長賞	吉野電化工業(株) 吉川市旭 1-2
埼玉県産業技術総合センター長賞	(株)パーツ精工 (表面処理事業部) 越谷市大字増森 1544-14
埼玉県中小企業団体中央会長賞	仁科工業(株) 内田 英希 さいたま市中央区下落合 1003
埼玉県鍍金工業組合理事長賞	(株)明光社 川口市南鳩ヶ谷 3-21-8
フジサンケイ ビジネスアイ賞	(株)精硬クローム工業 小川 健二 川口市東領家 4-18-10
産業通信社賞	(株)真工社 B 戸田市美女木東 2-2-6

平成26年度排水管理優良事業所  
平成25年10月～平成26年9月  
表彰事業所

埼玉県鍍金工業組合理事長表彰		昭和ロール(株)	3年連続	第5支部	
連続年数	支部	プレート授受事業所	連続年数	支部	プレート授受事業所
4年連続	第1支部	(有)二幸鍍金工業所	1年	第5支部	吉野電化工業(株)第三工場
4年連続	〃	(株)サニー電化	17年連続	第6支部	(株)東工業
3年連続	〃	新田興業(株)	2年連続	〃	仁科工業(株) A工場
1年	〃	島田工業所	2年連続	〃	(株)大宮鍍金工業 本社
13年連続	第2支部	(株)島崎鍍金	1年	〃	仁科工業(株) D工場
9年連続	〃	(株)長沢製作所	1年	〃	(株)大宮鍍金工業 川越
14年連続	第3支部	栄電子工業(株)	10年連続	第7支部	(株)精硬クローム工業 第2工場
2年連続	〃	(有)石井鍍金工場	4年連続	〃	(有)共栄工業
2年連続	〃	押尾化学工業(有)	3年連続	〃	(株)明光社
2年連続	第4支部	東洋硬化クローム(株)	3年連続	〃	(有)坂寄鍍研精工
1年	〃	(有)吉田商店	2年連続	〃	ダイコウ
31年連続	第5支部	(株)イシワタ	2年連続	〃	羽鳥鍍研工業(株)
6年連続	〃	(有)植木硬質クローム工業所	2年連続	〃	(有)小林鍍金工業
4年連続	〃	カツデン(株)	1年	〃	(株)ダイエイバレル
4年連続	〃	(有)池澤鍍金工業所	1年	〃	(有)堤北鍍金
1年	〃	(有)今井メッキ工業所	1年	〃	(株)サイトウメッキ
1年	〃	(有)小林鍍金工業所	1年	〃	新硬クローム工業(株)



ただく機会を得ました。

この場には組合事業者はもちろんのこと、来賓の議員の方々、埼玉県の役職の方々、薬品メーカーの方々など多くの皆さまの前で受賞された社名が高らかに発表されたことは、県知事賞の重みを感じるとともに、受賞社の名声をアピールすることができたのではないかと感じております。

今後とも幅広く多くの方々に、我々の組合事業を知っていただき

各事業所様の広報活動の一環として一助ができれば幸いと感じております。来期の技術競技会の多くの参加を募ると共に、排水基準が全ての事業所様で達成できることを祈念いたしております。

終わりに、埼玉県めつき技術競技会の審査員として長きにわたりご活躍をいただきありがとうございました。星野先生(東京都立大学名誉教授)がご本人のお申し出により今期限りでご退任されることとなりました。長年のご尽力へ深く感謝いたしますとともに今後も我々埼玉県のめつき業界の発展にご協力をお願いしたいとして川口市で作られた「干支ベীগオマ」に県内の事業所にて12種類の鍍金を特別に施した記念品を作成してお送りいたしました。

技術委員会委員長 饗場 功治

## 彩の国ビジネスアリーナ 2015

2015年1月28日・29日 さいたまスーパーアリーナ

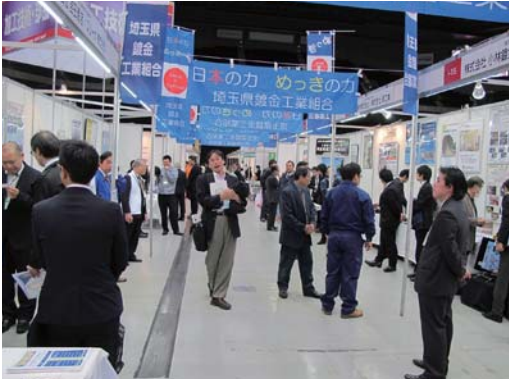


年始の恒例事業となつてまいりました、埼玉県鍍金工業組合より参加希望者を募り国内最大級といわれる展示会に出展を致しました。埼玉県内はもとより県外から

も出展があり、およそ700ものブースが広大なさいたまスーパーアリーナを各企業が埋め尽くして開催されました。出展はホンダ、三菱の自動車産業をはじめ加工、製作部門から共同開発を求める大学まで幅広い分野で事業のマッチングを求める企業で溢れ、活気がある展示会となりました。

埼玉県鍍金工業組合と致しましては、合同出展場所を確保し、最大限のアピールを出来るように準備を致しました。今回は8ブースを利用し、ブースを対面で配置したことで通路にも垂れ幕を掲げて他のブースが羨む空間を作り出して来場者にひと目でめつき関連の出展とわかるようにレイアウトを致しました。





18事業所がそれぞれ工夫を凝らした展示には、同業者である私でさえ興味が湧き、色々な質問をさせていただき新たな発見もありました。また東京・神奈川など近県のめつき同業者さんも噂を聞きつけて見学されて各県の事業に参考にしたとお褒めの言葉をいただくなど、来場者の興味がそそる2日間となったと感じています。

我々めつき業は製品を製作するのではなく、「技術をお客様のお

品物に加える仕事」のため展示会でのアピールが大変難しいです。

ブースを眺め歩く方々が、3メートルの自社ブース前を通過する時間はおよそ10秒たらずです。その間にどれだけのアピールをしてめつきを行っている会社かを理解して頂くことはほぼ不可能に近いと考えられます。しかしめつき業のブースが結束し、「めつき」と書かれたのぼりを立て、参加企業がめつきの知識を出し合い、お客様への希望にあった会社を紹介しあう。まさに陣を構え全てのお客様を抱え込む理想的な状態で展示会に望んでいると主催者側からもお褒めの言葉を頂いています。

近年ではこの展示会で知り合えたお客様との取引が成立していることもあり、継続することはお客様の記憶に残り「あの展示会に行けば、めつきを知り、めつき業者と出会える」ことが浸透しつつある

ようです。

昨年より更なる仕掛けと考えた、参加社が一堂に掲載されたガイドブックは今期も好評で多くの方々がチラシを迷惑そうに断る中「これは社内で保管できる資料です」と受け取って下さいます。

めつきを中心に表面処理という分野を多くの方々に正しく知ってもらうための組合事業のあり方を模索して参りたいと考えております。来年もさらに多くの事業者様に理解をいただき、一列全てをめつき通りとして出展したいので皆様のご出展をお待ちしております。

彩の国ビジネスアリーナ

2016 開催予定

会期 2016年 1月末

会場 さいたまスーパーアリーナ  
(さいたま市中央区新都心)

内容 展示ブースにおいて、自社の製品や技術力、サービスなどを積極的にアピールするなど、来場者や他の参加者との情報交換商談などを行っていただきます。

詳細は、今後のホームページで確認をしてください。

申込 夏頃の開始を予定しています。

問合せ先 埼玉県鍍金工業組合  
担当 技術委員会

お気軽にお問い合わせください。



# 埼玉鍍金会新春賀詞交歓会

平成27年2月6日

新道山家

2月に入りおおかたの会合で賀詞交歓会を終えたところで埼玉県鍍金工業組合青年部・埼玉鍍金会は例年賀詞交歓会を行っております。

各団体の景気動向を踏まえつつ、各地で収集した情報を共有するには絶好の機会となっております。今回は、埼玉県鍍金工業組合より吉田副理事長をお招きして、会長以下会員27名の参加があり盛大に賑々しく定刻から遅れることなく開会となりました。

初めに甲斐野会長から「景気動向が苦しく先の見通しが厳しい中でも我々若手が元気に活動していくことが大切である」と会員を鼓舞させる挨拶で場が和み、来賓を代表して吉田副理事長より「トヨタなど大企業が行う横暴とも言えるような発注は国が監視し、中小企業を守る政策を取るようなので

稼業を頑張って欲しい」と賀詞交歓会らしく前向きな挨拶が続きました。

参加者の気持が高まったところでの歓談が始まると、お座敷の会場ということで各自の席から離れあちらこちらで塊を作って日頃の悩みや昨年から今年にかけての状況などを話している姿は同業者ながら仲間として心強く感じました。

ひと段落着いたところで、近年恒例となつてまいりました「埼玉会ルールによるビンゴ大会」が始まりました。埼玉鍍金会ルールは、3×3マスの自カードに1〜26から9個の数字を自分でマス目に記入します。たとえビンゴが揃ったとしても、もらえる景品はくじ引きとなり「2段階の運を自ら引き当てる」ルールとしています。新春

の運試しと開催をしておりますが、今年はビンゴまで「あとひとつ」で足踏みをするメンバーが多く、景気回復も「あとひとつ」を乗り越えればという予感がしております。景品にはちよつとお高めなお酒や会社で使えるヒーターやタブレット、家族に還元できる商品などをくじ引きで引いた後のメンバーの表情を見るのも楽しみのひとつとなっております。今年は数名から協賛品の差し入れがあったので、ビンゴ全部抜きを達成したら貰えたり、ディズニールランド・チケットが当選者から放出しますというところで、全員でジャンケン大会が急遽行われたりと企画以上に盛り上がるゲームになり新春のおめでたい会にふさわしく笑顔に溢れる賀詞交歓会となりました。

現在、埼玉鍍金会は会友・会員合わせ

て41名の加盟をいただいております。全国的にみても青年部活動が活発な代表格とされています。それは何故か？を内部に感じて感じることに、先輩方が生み出した素晴らしい伝統を絶え間なく引き継いできたこと、その時代に合った方針を柔軟に対応できること、個々が発信するメッセージに共感して実行させてゆく結束力があること、そして何よりもメンバー同士の仲が良いことがあげられるのではと感じています。我々中小企業の事業者は、会社に戻れば孤軍奮闘という立場で悩み、苦しむことが多いですが、相談ができる先輩や背中を押してくれる朋輩、頼りにしてくる後輩という存在が埼玉会という存在理由なのだと感じる夜となりました。

埼玉会賀詞交歓会幹事

副会長 饗場功治

## 第三回めつき業界の未来を担う若手の集い



ている様子が伝わってきました。主催者代表として青研会会長 菅野氏の挨拶の後、青研会顧問・大阪府鍍金工業組合理事長 長坂氏による乾杯の音頭がとられ、非常に賑やかな雰囲気になり、その後は若者同士の活発な情報交換・懇談の場となりました。

は、各団体様毎に特色ある活動紹介が行われましたが、中でも埼玉会は会の名物となるような元気のよい挨拶と紹介で会場中の注目を集めておりました。

まずはくじ引きで決められた席に着席し、お近くの方との名刺交換に始まり美味しい蟹料理に舌鼓

また、当組合の有志が主催となり、事前に東日本有志での集まりが開かれる等、若手同士の交流において主導的な立場で全国規模の若手ネットワークを築き上げようと地道な努力を続けております。

平成27年3月6日(金)19時00分より、第三回となる鍍金業界「未来を担う若手の集い」が大阪道頓堀を担う若手の集い」が大阪道頓堀界隈、かに道楽網元別館にて盛大に開催され、組合青年部埼玉会からは有志8名が参加しました。

参加者は全国から集まった業界の若手経営者・後継者80名、当日はご来賓として全鍍連より栗原会長も駆けつけ、地元大阪からは30名近くが参加と非常に力を入られ

2時間の予定時間は瞬く間に過ぎ、非常に和やか且つ活気ある雰囲気のなか、青研会副会長 近藤氏の締めのご挨拶で散会となりました。三回目ともなりますと、常連の参加者同士での独自のネットワークも出来始め、一部の参加者はこの二時間では飽きたらず、二次会、三次会と交流を深め空が明るくなる時間までこれからの業界

会中の各組合団体紹介に於いて

熱く語り合ったよう

す。

昨年度に比べると、少しずつではあるが「先の話」が来ているように会の賑やかさ、参加された皆様の顔の明るさが違ってきているように思えます。消費税増税、円安に伴う原材料費の高騰、再現のないエネルギー費の高騰、年々厳しくなる環境規制と不安材料を挙げればきりがありませんが、これだけの人数が遠隔地から一か所に集まってくる鍍金業界の若手です。正に「日本の力 めっきの力」というスローガンの通り、若手世代から日本のものづくりをリードし未来を明るくしていく気概でそれぞれの立場で日本経済を良い方向に導いていくのではと思います。

次世代を担う若手経営者を育てる為に

『埼玉県鍍金工業組合 青年部 埼玉鍍金会』

埼玉県鍍金工業組合では、後継者や若手経営者を育成する目的として、青年部が御座います。

埼玉鍍金会(サイトカイ)は、めっき業界の担い手の育成として、年間を通じて、講習会・視察研修・他県青年部の方々との交流・意見交換など様々な活動を行い、会員の懇親を深めて、社会人として鍛え、共に成長できる場を提供できる様にと活動しております。

次の担い手として自社の進むべき道を見極め、経営者及び管理者としての第一歩を踏み出す為のお手伝いをさせて頂く会です。

埼玉鍍金の活動は皆様のお力添えが必要で、なるべく多くの方に参加していただき、活動を知ってもらうことが必要と考えております。

例会には体験参加も出来ますので、埼玉鍍金会にご興味がある事業所の方がいらつしやいましたら、組合事務局にお声掛け下さい。

編集後記

埼玉古墳群は、9基の大型古墳が集中する東日本最大の古墳群です。また古墳群周辺はさきたま古墳公園として整備されており、古代のロマンに想いをよせながらの歴史散歩を楽しむことが出来ます。園内には「県立さきたま史跡の博物館」やはにわ作りが体験できる「はにわの館」などがあり、多くの人が訪れます。

また、現在、埼玉古墳群を世界遺



産に登録するための運動を官民一体となり推し進めています。

さきたま古墳公園内に現存する9基の古墳の詳細は「行田市観光案内」のホームページをご覧ください。

印刷  
保証企画工芸株式会社  
〒110-0012  
東京都台東区竜泉1-4-3  
TEL03(3875)1641